



MIYAGAWA TSUSHIN

宮川出張所が
お届けする
情報誌

2025.8

59

August

勢田川で発見！



トンビ
写真提供：河川愛護モニター

宮川通信

- ◇ 第6回工事現場取材
- ◇ 建設業界で働く人に聞いてみた
- ◇ 河川愛護モニター委嘱式
- ◇ 優良工事表彰式
- ◇ 出張所管内の工事実施箇所

現場取材

大湊町の堤防耐震補強工事



ご案内



X (旧Twitter)
三重河川国道事務所



ホームページ
三重河川国道事務所



川の防災情報

第6回 工事現場 取材

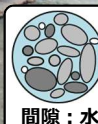
今号では、「浸透固化処理工法」を用いて堤防耐震補強工事を行っている
(株)山野建設取材しました。

第二湊橋



「浸透固化処理工法」とは…

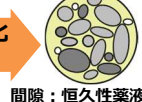
土や砂と水から成る緩い地層に浸透性の高い恒久性薬液を注入して土粒子間を満たす水を薬液に置き換えます。その薬液が硬化して地盤を固める工法です。既設構造物（堤防）はそのままに、堤防の液状化を防止できます。



間隙：水



浸透固化処理
間隙：恒久性薬液



間隙：恒久性薬液

工事名：令和6年度 大湊川堤防耐震補強工事 / 工事場所：大湊町 / 工事目的：耐震対策 / 工事期間：令和7年4月10日～令和7年10月31日
現場取材について、本工事の現場代理人兼主任技術者の(株)山野建設の 赤堀 和哉(あかほり かずや)さんにご協力いただきました。(取材日：令和7年7月)

削孔時の騒音対策は？

パーカッションドリルと呼ばれる削孔機を用いて、堤防コンクリートに深さ16.7mの穴を計92箇所削孔し、薬液の注入作業を行っています。

コンクリートをドリルで削孔する際に打撃音が発生します。音の大きさを測定すると環境省の定めている騒音の基準値を下回っていますが、近隣住民のご迷惑にならないよう、より打撃音を抑えるため、騒音の発生源であるドリル部分を特注の防音シートで覆う工夫をしています。

↓防音シート



薬液の流出対策は？

薬液の流出対策として、薬液を扱う設備すべてに受け皿を設置して河川への流出を防止しています。

また、注入範囲外への流出を確認するため、観測井戸を設置して採水し、水質検査を行っています。観測井戸とは、薬液の注入箇所から概ね10m以内の範囲に深さ約18m(=削孔深度+1m)掘ったもので、注入範囲の両端に計2箇所設置しています。工事前に1回と工事中は毎日、工事後の半年間は月2回の頻度で検査を実施します。

他、薬液を保管するタンクの転倒を防ぐため、タンクを敷鉄板や重量機器と鎖で繋ぎ固定しています。

受け皿



注入作業の注意点は？

薬液は地層に合わせた配合・注入量・注入速度で定められた注入範囲へ送る必要があるため、注入作業中は注入速度・圧力等が数値で表示される集中管理装置を常時確認しながら、薬液が正常に注入できているか監視しています。

地層に注入された薬液は、土粒子の配置はそのままに、間隙を満たす水を薬液へ置き換えて、約90分かけて固化します。

仮に薬液が注入範囲から逸脱した場合、逸脱した薬液が圧力となり既設堤防が隆起する等の構造物の変位に繋がるおそれがあります。このような事象を早期発見するため、注入前に既設構造物(堤防や橋門)それぞれに定点値を定めて毎日測量を行い、変位が発生していないか確認しています。これまでに既設構造物が変位した事象は発生していません。

↑注入作業



水質検査の様子



熱中症対策は？

屋外作業が続くためミストファン付き扇風機を設置した休憩所で、適宜休憩しています。飲み物は常時携帯していますが、スポーツドリンクや塩分タブレットも自由に補給可能で、作業時は空調服に加えて冷却ベストや外気温・湿度・体温を計測するヘルスウォッチを装着しています。現場にはWBGT(暑さ指数)値を自動計測して、音で危険を知らせる熱中症アラームも設置しました。

また、熱中症の自覚がないまま作業するのを防ぐため、通路上に直線のテープを貼り付け、テープの上をふらつかず歩くことができるかチェックしています。

ヘルスウォッチ



冷却ベスト



熱中症アラーム



直線に歩けるかチェック



集中管理装置を監視する様子



【建設業界で働く人】 に 聞いてみた

Vol.6

令和7年6月

一般に「建設業界」と聞くと、以前は3K（きつい、汚い、危険）といわれていましたが、現在は新3K（給与（の確保）、休暇（が取りやすい）、希望（が持てる））の実現に向けて、多くの事業所が「働き方改革」を進めて職場環境の改善に取り組み、若手技術者が働きやすい職場となりつつあります。

改革が進む建設業界で働く人の生の声を聞こうと、今号では（株）山野建設で働く2名の社員取材しました。

建設業界に入ったきっかけは？

地図に残る構造物の建設に関わりたいと思い、建設業界に興味を持ちました。専門知識もなく入社しましたが、先輩方から優しくご指導いただいたおかげで、毎日自身の成長を実感しながら勤務しています。弊社に入社してからは、車両系建設機械の運転技能講習等を受講したり、1級土木施工管理技士補等の資格を取得しました。

建設業界の子育て支援は？

私事ですが、現在、子どもが生まれたばかりで、育児休暇を取得しながら勤務しています。弊社では男性社員が気兼ねなく育児休暇を取得できるように、休暇取得日が自由に決められる等、仕事と子育ての両立がしやすい制度となっており非常に助かっています。

上司や先輩方からは子育てを優先するように言われ、休暇中の仕事をフォローしていただいたりと、温かく応援していただきました。

女性の産休・育休などの休暇制度も充実しており、男女問わず子育てに関するサポートが手厚く整備されています。

日々の
コミュニケーション
が成長に

もりした だいち
森下 大地 さん

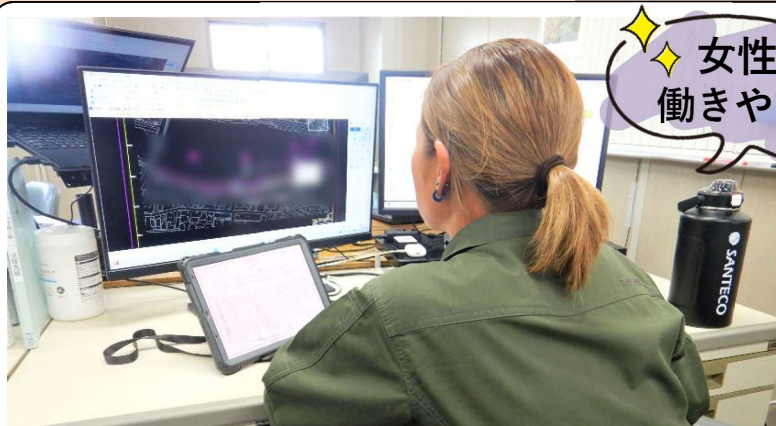
入社6年目
工務部所属



建設業界で働く「やりがい」は？

工事現場では年齢や立場の異なる様々な人と共に働くので、全員が快適に作業できるよう日々のコミュニケーションを大切にしています。そうして信頼関係が築けると、現場の雰囲気良くなり作業も円滑に進みます。人との交流が良い刺激となり、自身の成長にも繋がる時、非常にやりがいを感じます。

女性も
働きやすい



こやま しょうこ
小山 笑子 さん
入社1年目
工務部所属

建設業界で働く「やりがい」は？

工事が完成した時に、地元の方の笑顔や喜びの声を聞くと大きな達成感と共に自身の成長も感じます。今後も勉強を重ねて自身のスキルアップに挑戦し続け、地域に貢献していきたいです。

建設業界に入ったきっかけは？

建設業界で活躍して地域に貢献したいという思いから入社しました。前職場を合わせると建設業界8年目となります。前職場に勤めている時に1級土木施工管理技士を取得して、更なるキャリアアップと大きな仕事に関わる事を目指して現在の会社へ転職しました。

「女性」目線の建設業界は？

建設業界はいまだ女性が少ない男性社会ではありますが、女性も十分活躍できる職業だと思います。

私はこれまで勤務してきた中で、性別の違いからくる心配や不安を感じた事はありません。周囲の男性社員は女性一人で抱えこまないようにと些細な相談事でも聞いて、改善に動いてくれます。また、現場で作業する際は必ず女性専用トイレを設置する等、会社全体で女性が働きやすい職場環境作りにも努めています。

7/4

河川愛護モニター委嘱式

開催場所：宮川出張所

河川愛護モニターは、日常生活の範囲で河川の様子を利用者の立場から河川管理者（当出張所）へ報告していただく活動です。昨年度は、堤防へのラクガキや不法投棄の発見、外来種の確認など積極にご報告いただき、出張所一同大変感謝しております。今年度も引き続き宮川左岸2名（楠さん、前田さん）、宮川右岸1名（岡田さん）に担当していただきます。1年間よろしくお願いいたします。



↑左から岡田（おかだ）さん、楠（くす）さん、前田（まえだ）さん

7/28

優良工事表彰式

開催場所：三重河川国道事務所

三重河川国道事務所の発注工事において、優秀な成績をあげられた企業・技術者の皆様への表彰式が執り行われました。

当出張所からは、中部地方整備局長表彰として「令和6年度 宮川管内堤防整備工事」を施工した株式会社 西邦建設 様・優良技術者 西山 雅章 様、三重河川国道事務所長表彰として同工事の協力会社の株式会社 竹内土木 様・技術者 森 啓司 様 及び 株式会社 杉山建設 様・技術者 宮村 陽介 様が表彰されました。皆様おめでとうございます。



↑手前右から 森様、宮村様、(株)杉山建設様、西山様、(株)西邦建設様

宮川出張所管内の工事実施箇所

令和7年7月末時点



下記工事は管理区間全域です

令和6年度 宮川堤防維持管理修繕工事
施工者：海老屋・西山経常建設共同企業体

お問い合わせ先

■ 国土交通省 中部地方整備局 三重河川国道事務所 宮川出張所

〒516-0008 伊勢市船江1丁目11番25号

TEL：0596-25-1018 FAX：0596-27-6743

「宮川通信」のバックナンバーは
右QRコードよりご覧いただけます

<https://www.cbr.mlit.go.jp/mie/>

